授業科目	＊栄養教育論実習Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	永原　真奈見						
授業概要	管理栄養士は、全てのライフステージ、ライフスタイル、健康状態の人々を対象に、自ら健康管理ができるよう栄養教育を行う必要がある。 本実習では、栄養教育論１及び２で学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントを学修する。						
授業形態	実習			授業方法	ICT（Class room）の活用，アクティブラーニング（グループワーク，プレゼンテーション）を含む		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．対象者又は対象集団にあった栄養評価項目を選択し、栄養診断ができる。(DP2-1,DP3-1) ２．診断に基づき、栄養教育計画を作成し、栄養教育を実施することができる。(DP4-1,DP4-2) ３．栄養教育効果を高めるためのプレゼンテーション技術を修得する。(DP5-1) ４．対象者の発達段階や場に応じたコミュニケーションスキルを修得する。(DP1-1,DP1-2,DP2-1) ５．実施した栄養教育を適切に評価し、改善につなげることができる。(DP2-1,DP3-1)
理想的レベル	標準的レベル１～５の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる。(DP4-2,DP5-1)

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%	
レポート外の提出物	50%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT22103J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
予習：各回のテーマについて予習し、まとめる。 復習：実習で学修した事項について整理し、まとめる。	0

授業計画	
第１回	テーマ：実習ガイダンス、栄養教育方法・グループ学習 ・本授業の進め方について説明する。 ・グループ学習における 6-6 式討議や KJ 法について学ぶ。
第２回	テーマ：リーフレット作成 ・リーフレット作成の対象となるライフステージについて、その特徴をとらえ、題材について深く探求する。
第３回	テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(1)）

	・特定保健指導の実際について学び、対象者のアセスメントを通して、課題を抽出する。
第 4 回	テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(2)） ・対象者の課題に基づき、栄養教育計画及びシナリオを作成する。
第 5 回	テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(3)） ・指導教材を作成し、特定保健指導のロールプレイを行う。
第 6 回	テーマ：個人栄養教育実施・モニタリング（個人指導(4)） ・クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。
第 7 回	テーマ：個人栄養教育実施・モニタリング（個人指導(5)） ・クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。
第 8 回	テーマ：対象別集団栄養教育(1)　（計画） ・指導略案について学び、集団における栄養教育計画を作成する。
第 9 回	テーマ：対象別集団栄養教育(2)　（計画） ・対象とするライフステージ及び課題を設定し、指導略案を作成する。
第 10 回	テーマ：対象別集団栄養教育(3)　（計画） ・栄養教育計画に基づき、シナリオを作成する。
第 11 回	テーマ：対象別集団栄養教育(4)　（計画） ・栄養教育計画に基づき、教育教材を作成する。
第 12 回	テーマ：対象別集団栄養教育(5)　（計画・実施） ・グループ内発表及び評価を行い、改善点を見つける。
第 13 回	テーマ：対象別集団栄養教育(6)　（実施・評価） ・ライフステージ別栄養教育を実施する。
第 14 回	テーマ：対象別集団栄養教育(7)　（実施・評価） ・ライフステージ別栄養教育を実施する。
第 15 回	テーマ：対象別集団栄養教育(8)　（改善）及び　まとめ ・実施した栄養教育の自己評価及び他者評価を元に、教育計画を改善する。 ・個人及び集団における栄養教育の重点項目を解説する。
テキスト	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（監修）：「栄養教育論(改訂第 5 版)（健康・栄養科学シリーズ)」（南江堂）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：日本栄養改善学会 監修・武見ゆかり･赤松利恵 編「栄養教育論 理論と実践」(医歯薬出版株式会社)，大山珠美･須永美幸 編著「栄養教育論実習」(光生館) データベース：厚生労働省ホームページ、文部科学省ホームページ、農林水産省ホームページ、日本栄養士会ホームページ
課題に対するフィードバックの方法	ワークシート等の提出物は、コメントを添えて返却します。
学生へのメッセー	これまでに履修した専門基礎科目及び専門科目（特に栄養教育論Ⅰ及びⅡは必須）をしっかりと復習し、理解した上で授業に臨む姿勢が必要です。

ジ・コメント	栄養教育は、科学的根拠に基づいたデータや媒体を理解して計画に取り入れ、実施します。図書館（雑誌を含む）やインターネット等で関連情報を入手し、判断する力を養いましょう。また、日常から自分自身の栄養や健康について考え、行動することができるようにしましょう。